

4. 外来生物展示センター＋苅藻島クリーンセンター



～住み続けられるまちづくりを目指して～ 「外来生物」を感じ・知り・考える/ 「クリーンセンター」の役割と機能を学ぶ



プログラムスケジュール例

- 10:00～ ①外来生物展示センターの見学・説明
- 11:00～ ②苅藻島クリーンセンターの見学・説明
- 11:30～ ③会議室にて質疑応答等
- 12:00頃 終了

実施場所：苅藻島クリーンセンター内で2施設見学
実施時間：10：00～16：00の間
所要時間：約2時間
実施可能人員：最大50名程度
受入団体数：年間5団体（先着順）
※ 詳細については事前に要調整
実施費用：無料

『外来生物展示センター』

神戸市が全国の自治体で初の外来生物に特化した施設として2022年8月に設置しました。実際に外来生物を見る機会やその問題について知ることが少ない中、ブラックバスやアカミミガメ等の生きた個体、アライグマの剥製やその他学習展示をご覧いただき、専門員が解説することで外来生物問題を感じ・知り・考えるきっかけとしていただきます。

かもじま

『苅藻島クリーンセンター』

神戸市では、ごみの減量・資源化に取り組んでいますが、資源化できないごみはクリーンセンターで焼却し、それによって発生する熱で発電を行っています。苅藻島クリーンセンターは、平成29年に焼却を停止、ごみピットなどを中継施設として活用することにより、収集・運搬の効率化、温室効果ガスや自動車公害の削減など環境負荷の低減に努めています。

①外来生物展示センターの見学・説明

- ・生きた個体やはく製を見学し、外来生物について、専門員から詳しい説明を聞きます。

②苅藻島クリーンセンターの見学・説明

- ・クリーンセンターについて、その役割と機能を現場で見学し、脱炭素化や再生可能エネルギーについても学習する。

③見学後に質疑応答・発表

- ・見学後は、生物多様性保全や自然共生社会、環境問題について疑問に思ったことを、専門員に質問し、グループで話し合い、発表の時間をとります。



4. 外来生物展示センター＋苅藻島クリーンセンター



学習のポイント

- ① 「外来生物」の問題を理解する
- ② クリーンセンターの役割を理解する
- ③ 生物多様性保全や環境問題について考える



学習の流れ（モデル）

